

# ProMED-mail情報 2019年12月版

ProMED-mail <https://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介いたします。FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <https://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
24日	レジオネラ症 オーストラリア	2019年2月～11月の間バリ島から帰国したパース在住の4名にレジオネラ肺炎の集積。ワシントン州保健局の伝染病管理局长ポール・アームストロングは、このバリ島ラマヤナ温泉リゾートから2010年と2011年に発生した、少なくとも13人のオーストラリア人におけるレジオネラ症流行と関連していると述べた。
18日	リーシュマニア症 ケニア	保健当局は、ケニアで寄生虫病リーシュマニア症の症例を報告。2019年12月8日までに、34例の死亡を含む2,822例の発生。ほとんどの症例は、マンデラ、マーサビット、ワジール、およびガリッサ郡から報告されている。原虫の種の違いにより、皮膚潰瘍から致死的内臓疾患まで症状は様々である。
17日	エボラ出血熱 コンゴ共和国	流行以来、累積数は3,346例であり、うち3,228例がエボラ確定例。合計2,213例が死亡、1,089例が治癒。2019年12月12日までに1,890例が、カリシンビからゴマまでの2つの地域で第2ワクチンのAd26.ZEBOV/MVA-BN-Filoを接種。2018年8月8日の予防接種開始以来、257,521人がrVSV-ZEBOVによる予防接種を受けた。
14日	流行性耳下腺炎 イギリス	英国の大学内にて流行性耳下腺炎の流行。2019年7月より7,200例を超える疑い症例の報告は去年の3倍。英国内で15,000例を超える流行性耳下腺炎の症例が報告されている。20年前の予防接種率低下が関連している。
11日	鳥インフルエンザ (H9N2) 中国	福建省と安徽省において、インフルエンザA型(H9N2)感染者が今季初めて2例報告。1例目は、福建省在住の4歳女児、2019年10月26日発症、発症前に家禽接触歴あり。2例目は、安徽省在住の5歳女児、2019年11月12日発症、発症前に家禽食肉処理場への訪問歴あり。2015年以後、計28例のヒト感染報告。
10日	黄熱 マリ共和国	2019年12月3日マリ共和国にて死亡1名を含む黄熱患者3名の報告があった。年齢は15～25歳、女性1名、男性2名で発症時期は、11月上旬。2002年にワクチンが導入され、2017年ワクチン接種率は平均65%であった。2015年のベクター調査では10例陽性。
9日	サルモネラ 米国	ペンシルベニア州にて全31例のサルモネラ感染が4つの医療機関より報告。食中毒の原因はテイラーカット社製のフルーツ。代理店はメロン、甘露、パイナップル、およびブドウのフルーツミックスを回収している。
7日	ラッサ熱 リベリア共和国	ニンバ郡医療チームによると、ラッサ熱が新たに9症例、3例は死亡と報告。サンニケリーマーン、サクピー、タペタの3地域が流行地として宣言。サンニケリーマーンでは、30例以上の疑い症例、9例の確定、3例の死亡が報告。リベリア全体では1～8月の間92例の疑い、25例の確定、2例の死亡。
5日	麻しん サモア	アウトブレイク後より健康監視対象者が4,052名、直近の24時間で171名を確認。現在、医療施設で入院中の麻しん患者は177名。これまでに、麻しんに関連した死者60名、24時間で2名死亡している。12月2日に政府は6か月から60歳を対象に無償でワクチンの接種を行っている。
3日	梅毒 カナダ	カナダのブリティッシュコロンビア州にて、梅毒の報告数が増加。2018年は919例、2019年1月～9月30日は821例であることより、2019年の報告数は1,095例と予測される。梅毒は性感染症であるが、女性の報告数が2017年は35例、2018年53例と増加しており、2019年は75例と予測される。2013年以来、先天性梅毒が2例報告されている。
1日	中東呼吸器症候群 サウジアラビア	2019年11月13日以降、サウジアラビアで新たに3例のMERS-CoV感染を確認、最近の11件の転帰（2件の死亡と9件の回復）が報告。11月中に、新たに12例が確認され、そのうち1人は死亡。リヤド、アルマディナ、マッカおよびアルカシム地域より報告。そのうち5件は発症前にラクダとの接触歴を認めた。